

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
地域経済論	～218 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	坂本 徹	
履修の前提条件	コンピュータを大学のネットワークに接続できる状態にしておいて下さい。パスワードの有効期限は6か月ですから、有効期限のチェックや更新、再発行の手続きなど意外に時間がかかります。					
授業概要 (Course Outline)						
<p>本講義では先ずデータについて学び、次いでそのデータを使った種々の物差し(指標)について学ぶ。 分析の基礎となる地域のデータは、全国もれなく、長い期間にわたって、同じ内容で記録され続けている必要がある。この条件を満たすデータはそう多くはない。データについての学習ではこうした条件を満たす日本の5大センサスについて学ぶ。次にある地域の特徴をまとめたり、同地域の昔と今、または他の地域と比較するといった作業には、物差しが必要である。人々の密集している町の様子を「人口密度」で表してみるといった際の「人口密度」は人口というデータと面積というデータを組み合わせて作った物差し(指標)であるといった具合である。このようにしてできあがった指標の観察をおして、質的変化を量的変化で表すことを学習する。</p>						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving					
	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
日本の5大センサスにアクセスして、日本国内であればこのデータでも収集し、簡単な分析ができるようになる事。						
事前学習の内容	講義の終了時に次回講義内容のポイントを予告するので、それをキーワードとして関連事項について読んでおくこと。					
事後学習の内容	授業中に提示した事例は、必ず実データで実行し、保存しておいて下さい。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業ではコンピュータの操作を通して、データベースへのアクセス、データの取り込み、データの編集と分析を行います。これまでに修得したコンピュータの知識・技術を総動員して、又は思い出しながら自らの経験として積み上げて行くこと。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
授業中に生じた疑問点・意見は、できるだけその場で採り上げて行きます。その他については月曜の3・4時間目(12:50～16:00)をオフィスアワーとしていますので、この時間帯は事前連絡無しでお待ちしています。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
<p>太宰府キャンパスネットワーク、本学地域情報センター、国際交流センター、公開講座の諸事業に参加した者は成績評価の対象とします。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。</p>						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	地域経済論の成り立ち		
第2回	地域の概念		
第3回	統計地域(行政地域、人口集中地区、大都市圏・都市圏)		
第4回	統計地域(農業集落、国勢統計区、地域メッシュ)		
第5回	産業分類		
第6回	日本の五大統計調査(国勢調査、事業所統計調査、農林業センサス)		
第7回	日本の五大統計調査(商業統計調査、工業統計調査)		
第8回	その他の統計(住民基本台帳人口、人口動態統計、住宅統計調査、家計調査年報)		
第9回	データ特性(量的データ、質的データ、時系列データ、横断面データ、パネル調査)		
第10回	データ特性(属人データ、属地データ、夜間人口データ、昼間人口データ)		
第11回	地域分布		
第12回	地域特性の測度		
第13回	人口密度		
第14回	商業人口		
第15回	総合指標		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
地域経済論 —データベースへのアクセスと利用を中心に—	坂本 徹	東筑印刷	私家版 授業中に配布
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
地域文分析入門	大友 篤	東洋経済新報社	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
評価 = 中間レポート + 定期試験評価 4 : 6			